

病床削減が地域医療構想の実現に資するものであることの説明資料

病院等の名称	佐島医院
見直しを行った機能	慢性期
H30許可病床数からの削減数	5床
変更予定年月日	令和3年3月1日

1 地域の状況		
地域の現状と課題	救急病院として一次患者の診察を行っていたが、公的病院が4つありそれが徐々に救急を受け入れるようになり、徐々に慢性期病棟に移すようになった。 今後、下関地区は人口の減少が見込まれるが、特に当医院の周辺は高齢者の数が特に顕著である。高齢者を慢性期で受け入れる事で生じる医療従事者の確保が困難である。	
2 自施設の状況		
自施設の現状 (変更前)	一次救急病院として昼夜をとわず入院等を引き受けていた。	
病床数の見直し	見直しの考え方	現在、慢性期患者が増える中、高齢者の看護には人手が多くかかり、職員の確保が難しい状態である。 病床削減することにより行き届いたきめの細かい看護をしていきたい。
	対象の病棟・病床の概要	慢性期病棟数を17床から12床に減少する。 手厚い看護をしていきたい。
	入院患者への対応	徐々に入院を減らし家族やケアマネージャー等との連携をとりながら在宅で医療が受けられるように往診の体制を整える。
3 病床削減が地域医療構想の実現に資するものである理由		
理由	今後、下関地区の人口減少による医療需要の減少が見込まれ、病床利用率が低下すると推測される。また、確保できる職員数での看護のクオリティバランスの面からも適正な病床規模にすべきと考えるものである。	

【参考：H30病床機能報告(下関保健医療圏の状況)】

病床区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 廃止予定	介護保険施設 移行予定	合計
報告	①H30(2018)現状	307	1,328	1,088	1,861	188	-	4,772
	②R7 (2025)予定	307	1,320	1,157	1,434	183	371	4,772
構想	③R7 (2025)必要数	264	856	1,067	1,295	-	-	3,482
④構想との差(H30)(①-③)		43	472	21	566	-	-	1,102
⑤構想との差(R7)(②-③)		43	464	90	139	-	-	736